

農業川柳 結果発表

応募総数 **460** 句

募集テーマ **食や農への想い**

たくさんのご応募ありがとうございました。
受賞された皆さん、おめでとうございます。
入賞作品はJAホームページ(2月1日より)でも紹介しています。

最優秀賞

農業の
誇り日焼けの
太い腕



豊田市高岡町
高野 敏夫さん

先生の講評

遅く日焼けした顔と腕。この道一筋に歩んだ男の姿は尊い。ご自身もこれに誇りを持っているに相違ない。まさに、瑞穂の国は勤勉で豊かな知識と経験に基いて農業に勤しむ人々によって支えられているのです。

総評

今回も、農業に対する熱い思いや、家族の絆など、微笑ましく心温まる句を多数いただきました。全体としては高齢の方が多いのですが、ペランダで作柄を競うとか、脱サラの夢など、比較的若い発想の句もありました。また、赤とんぼ米を想像させる句や、直売所の句など地元ならではの微笑ましい句もありました。川柳は喜怒哀楽を率直に詠う心の詩です。これからも楽しく大らかに詠み続けてください。なお、読者の共感を得るためには、それなりに技巧や工夫も必要です。比喩を用いたり、多少の創作を加えて句の深みを加えたり、幅を持たせると一層よい句が作れます。これからも多読・多作を心がけてください。



審査員 **重徳 光州** 先生
1939年生まれ、豊田市今町在住。
全日本川柳協会主催の国民文化祭で選者を務める。
現在、豊田市ほうなん川柳講師。

佳作

- 空青し こがね穂先に 赤とんぼ
豊田市大林町 森 京子さん
- ふぞろいも 個性が並ぶ 直売所
豊田市高上 ベンネーム・あきさん
- 脱サラの 夢は軽トラ 耕運機
豊田市戸見町 ベンネーム・ちこちゃんさん
- ペランダで 隣の家と 競い合い
豊田市野見山町 ベンネーム・サツカーボールさん
- コロナ禍も 心耕し 畑に行く
豊田市朝日町 平井 慎司さん
- 果樹の根に お礼肥まき 冬支度
豊田市寺部町 ベンネーム・クロちゃんさん
- 抜き取った 異形大根 笑みが出る
豊田市深田町 神戸 哲さん
- コロナ禍で 帰省せぬ子へ 送る柿
豊田市朝日町 ベンネーム・白井華さん
- 名付け張り 送り出す母 道の駅
豊田市新町 ベンネーム・カラリーナさん
- あぜ道の 農業談義 もうお昼
豊田市堤町 清水 昭代さん
- 最高だ 孫が握った 塩むすび
豊田市加納町 三宅 基之さん
- 新米の お替り競う 孫二人
豊田市若竜町 ベンネーム・ツチさん
- 耕して 大地の恵み 貰う日々
豊田市幸母町 柴田 則之さん
- ちっげけな 家庭菜園 宝もの
豊田市山之手 ベンネーム・ときやんさん
- 老いてなお まかせておけぬ 米作り
豊田市滝見町 ベンネーム・ばあばさん

優秀賞

食卓を
囲み家族で
旬の味



豊田市山之手
稲垣 義久さん

先生の講評

地産地消だろうか。家庭菜園や貸農園かも知れない。旬の味が身近に手に入る幸せは何物にも代えがたい。豊作を誇らしげに語るのは父親でしょうか。それを手料理した母親の腕も買いたい。子どもたちの夕餉の幸せを楽しんでいる様子が伺えます。

優秀賞

米と言う
字の言い伝え
孫に説き



みよし市三好町
秋松 成喜さん

先生の講評

米は八十八の手間をかけて作られる。私たちは幼い時からその意味を教えられ一粒一粒を大切にできた。しかし、昨今は食品ロスが増えるなど、その意義が忘れられつつあります。幸い、最近ではSDGsの視点から米を大切にすることの重要性を教えている小学校もあるようでうれしいです。

